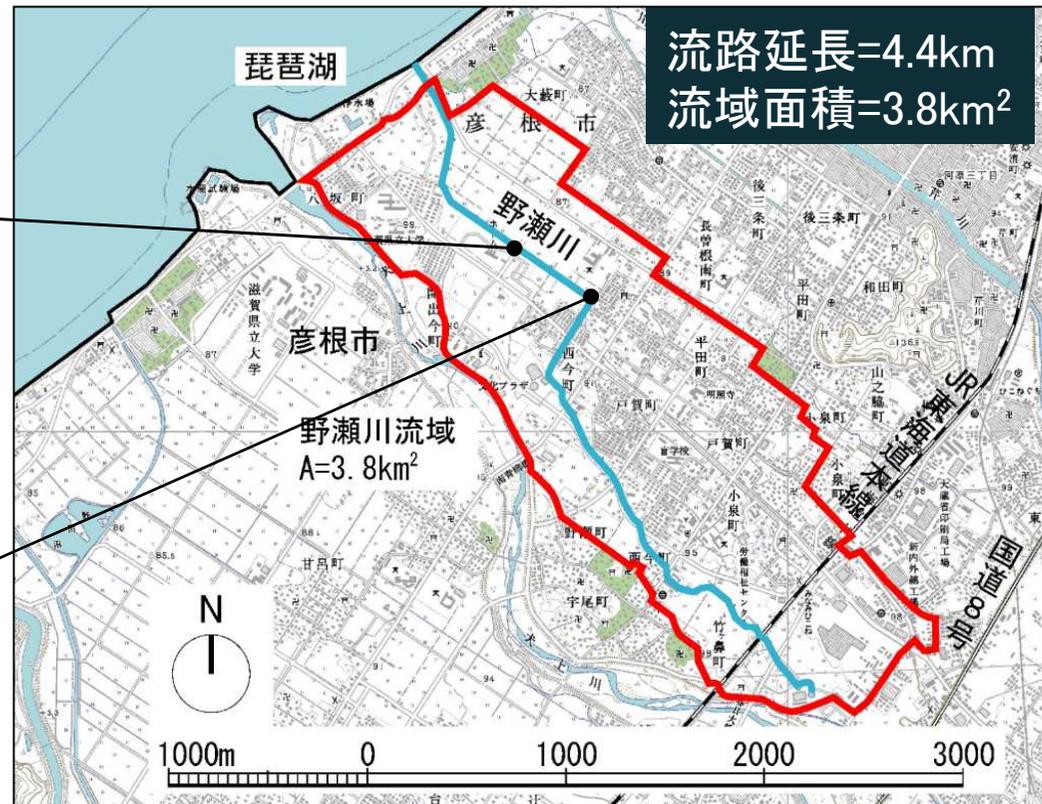


3.11 野瀬川

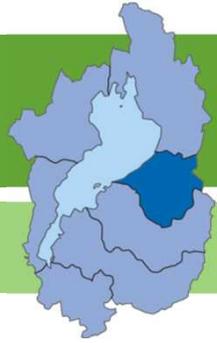
変更あり

①流域概要

- 野瀬川は、彦根市竹ヶ鼻町に源を発し、犬上川右岸側を北西に流れ、JR東海道本線を横過し、主要地方道大津能登川長浜線の下流で準用河川戸賀川を合流して彦根市大藪町で琵琶湖に流入する流域面積約3.8km²、幹線流路延長約4.4kmの一級河川である。



(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)



3.11 野瀬川

変更あり

②過去の洪水被害

平成19年 7月洪水

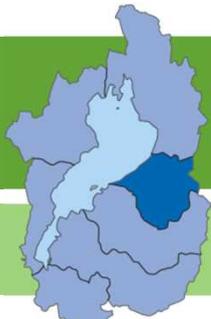
市道橋より下流



改修計画上流端より下流



- ◆平成2年9月の台風19号により0.18haが冠水、家屋が17戸浸水
- ◆平成13年7月の豪雨では6.13haが冠水、家屋124戸の浸水
- ◆平成19年7月の大雨・台風14号では0.04haが冠水、家屋8戸が浸水



3.11 野瀬川

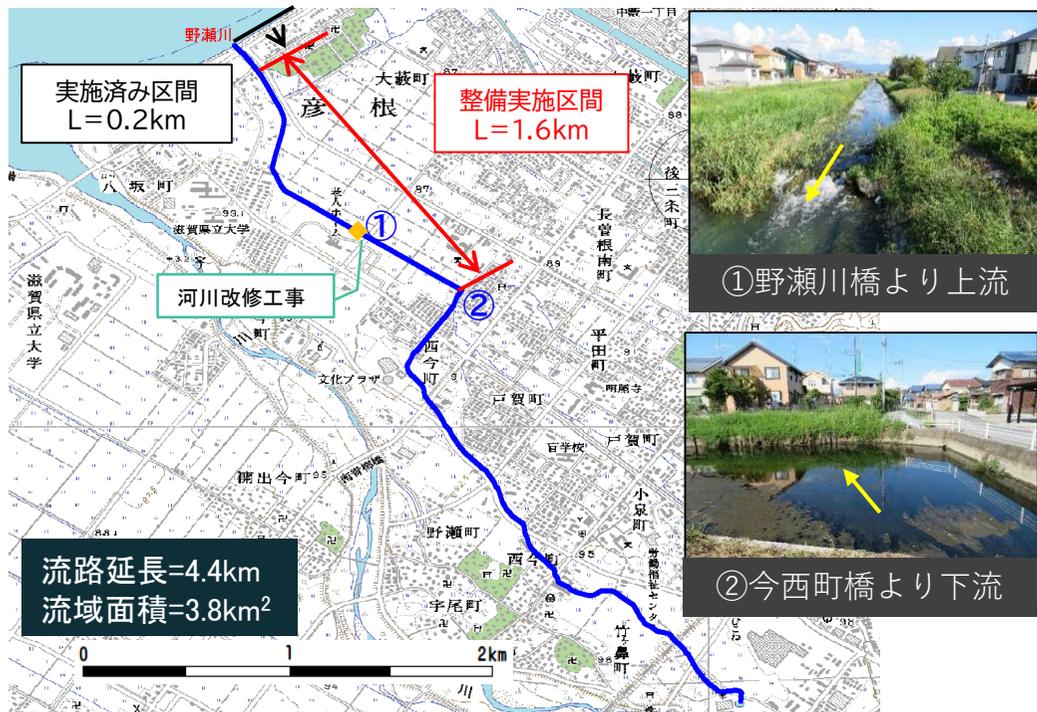
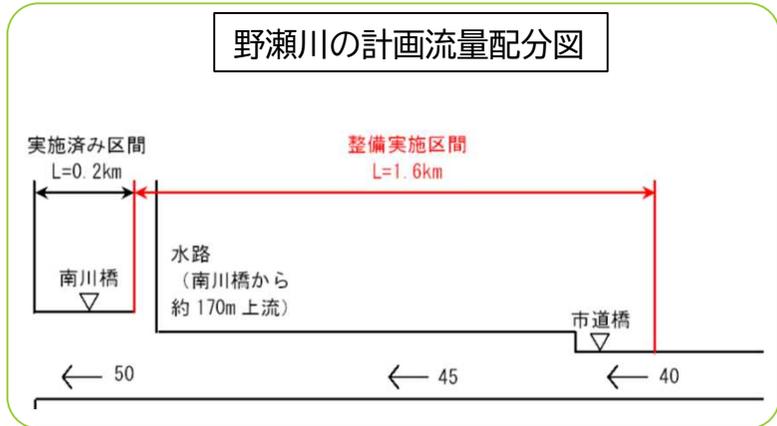
変更あり

③現行整備計画の概要と改修の状況

【現行整備計画の概要】

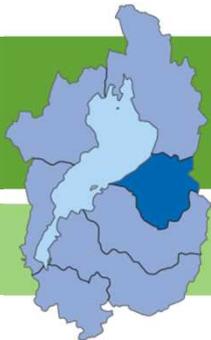
- ◆野瀬川は、10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるように整備を行う。
- ◆計画高水流量は、南川橋地点において50m³/sとする。

※野瀬川は市街地を貫流する都市河川であり、将来目標で用地を取得する方が効率的な区間があるため、事業効率を考慮して区間ごとの望ましい目標を設定し整備する。



【現在の進捗状況】
整備実施区間(1.6km)のうち、野瀬川橋下流300mの河道改修が完了しています。

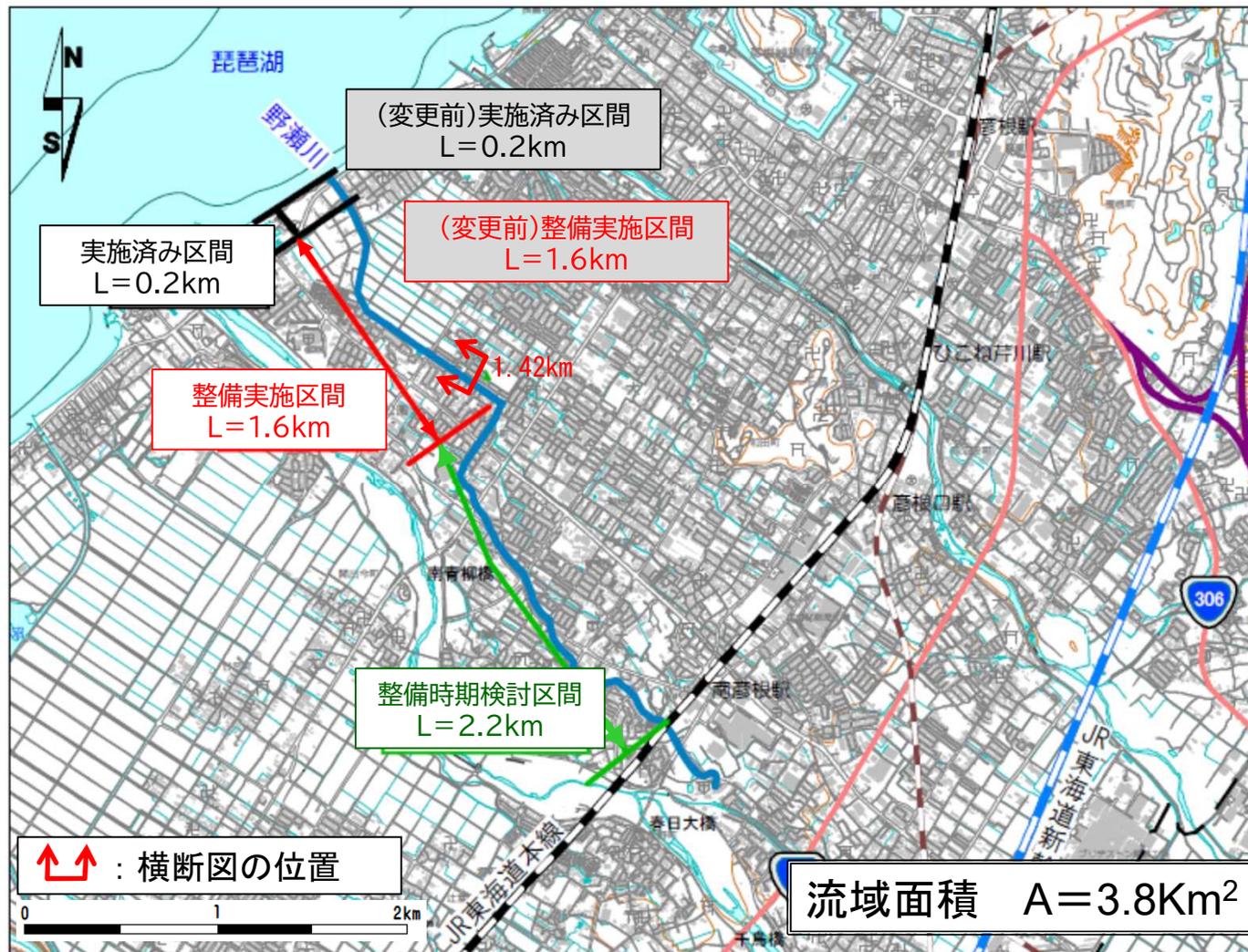
(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)



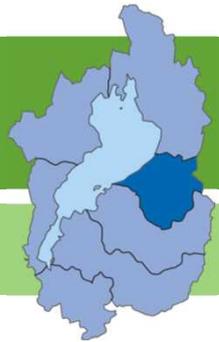
3.11 野瀬川

変更あり

④ 変更整備計画の概要(平面図)



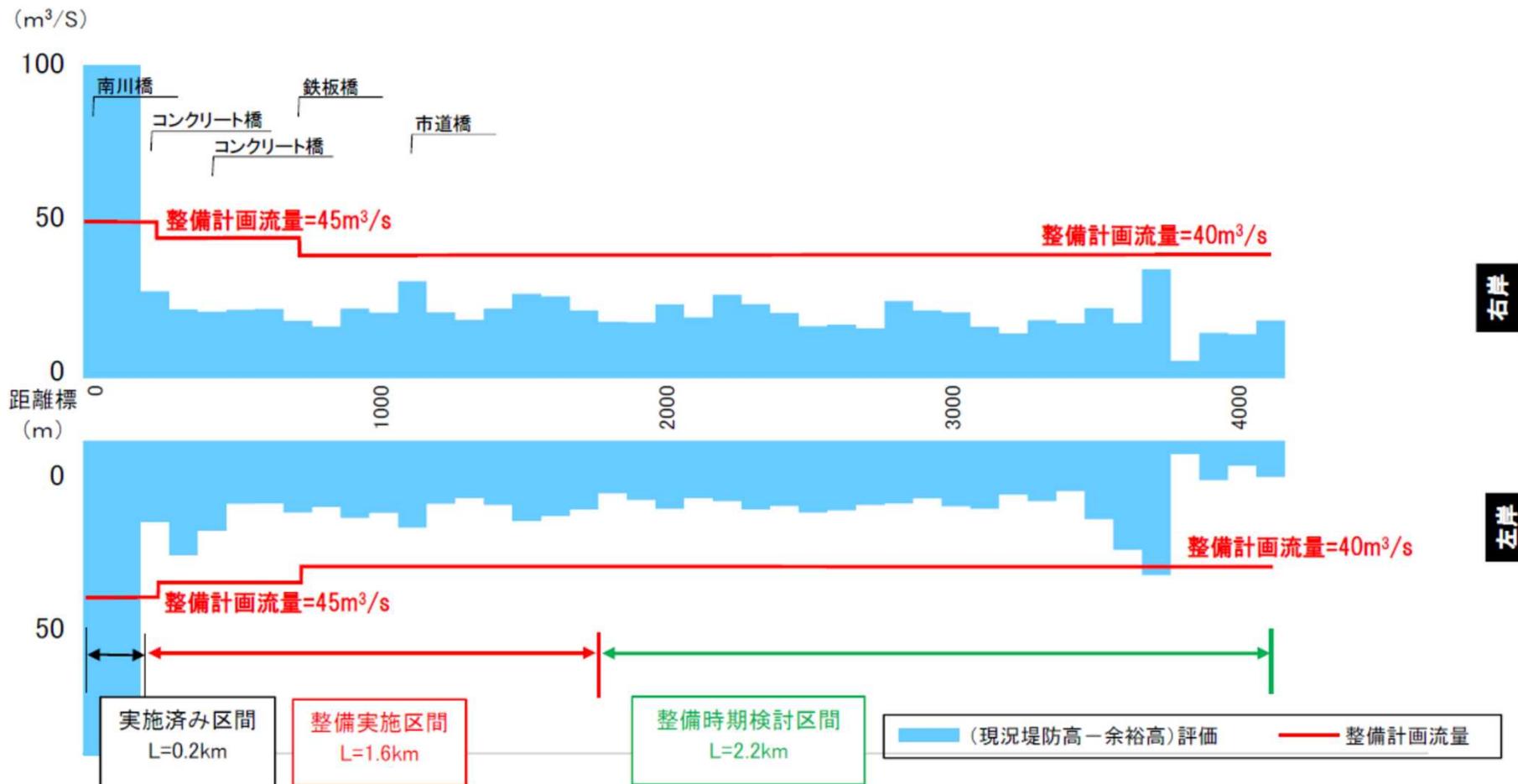
(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)

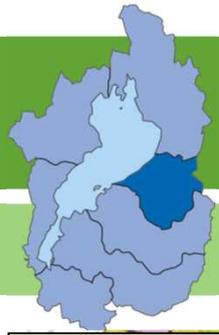


3.11 野瀬川

変更あり

⑤変更整備計画の治水上の課題(流下能力図)





3.11 野瀬川

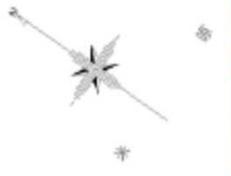
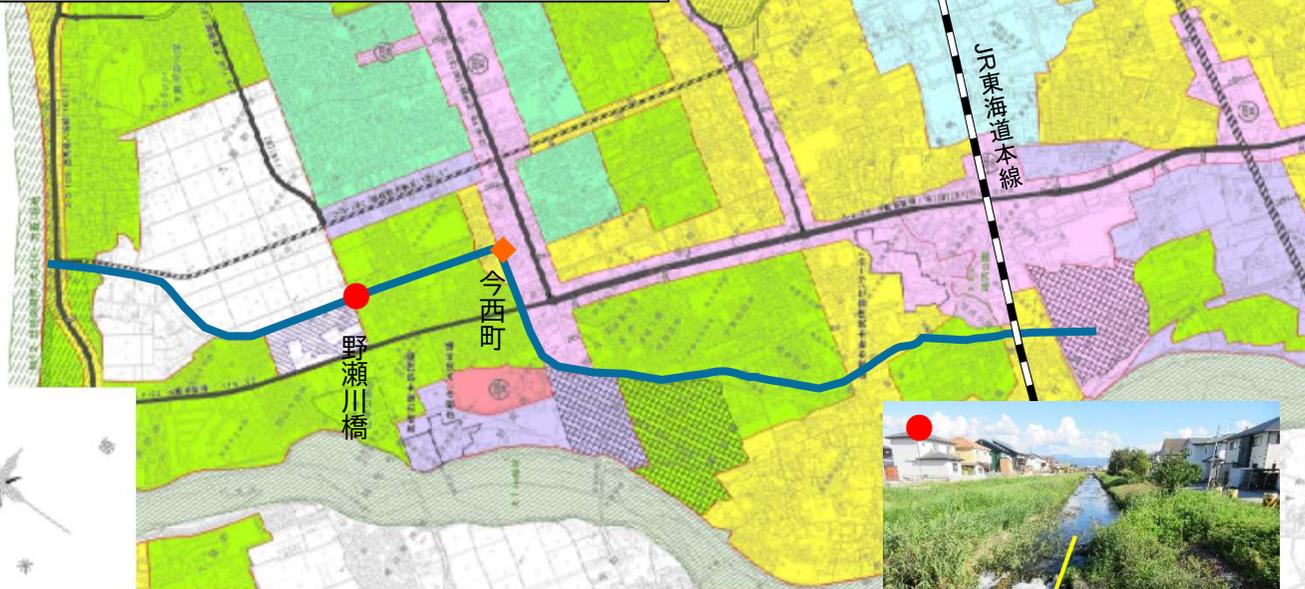
変更あり

⑤治水上の課題(流域特性・社会特性)

- ・上流部流域は市街化区域で住宅開発が進められてきたが、下流部流域でも宅地開発が進み、田園風景の残る市街化調整区域は僅かとなっている。
- ・彦根市中央部の平地部を流れていることから河床勾配は比較的緩やかで、全川にわたって流下能力が小さい。



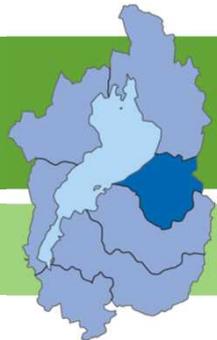
西今町 (R5.9撮影)



凡 例	
—	都市計画区域界
□	市街化区域
←	都市計画道路
■	高速道路
▨	風致地区
□	公園
▨	緑地
▨	防火地域
▨	地区計画区域
▨	伝統的建造物群保存地区
▨	臨港地区
▨	土地区画整理事業
▨	大規模開発区域
▨	都市施設
▨	特別用途地区
用途地域	
■	第一種低層住居専用地域 (容積率 20%)
■	第一種低層住居専用地域 (容積率 25%)
■	第一種中高層住居専用地域 (容積率 20%)
■	第一種中高層住居専用地域 (容積率 25%)
■	第一種住居地域 (容積率 20%)
■	第一種住居地域 (容積率 25%)
■	第二種住居地域 (容積率 20%)
■	準住居地域 (容積率 20%)
■	近隣商業地域 (容積率 20%)
■	近隣商業地域 (容積率 25%)
■	商業地域 (容積率 20%)
■	商業地域 (容積率 25%)
■	商業地域 (容積率 30%)
■	準工業地域 (容積率 20%)
■	工業地域 (容積率 20%)
■	工業専用地域 (容積率 20%)

図面出典)彦根市都市計画総括図(令和6年3月)

野瀬川橋より上流 (R5.9撮影)



3.11 野瀬川

変更あり

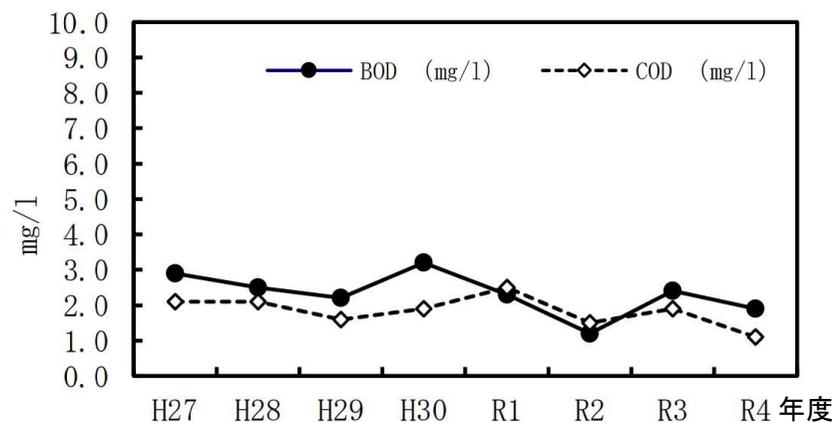
⑥利水の現状

◆野瀬川流域における河川水の利用の主なものはかんがい用水で、9か所の取水口から取水している。(平成25年8月)

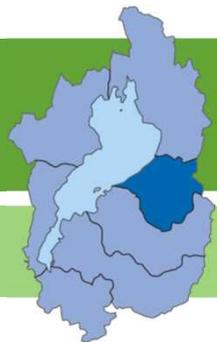
⑦水質の現状

◆彦根市によって、大藪町付近において水質の観測が行われている。

野瀬川(大藪町)



出典:彦根市の環境(令和6年2月,彦根市)



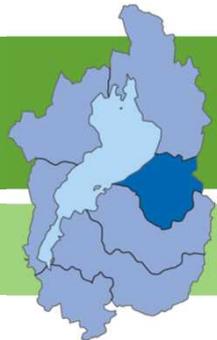
3.11 野瀬川

変更あり

⑧環境の現状

◆野瀬川流域で確認された動植物

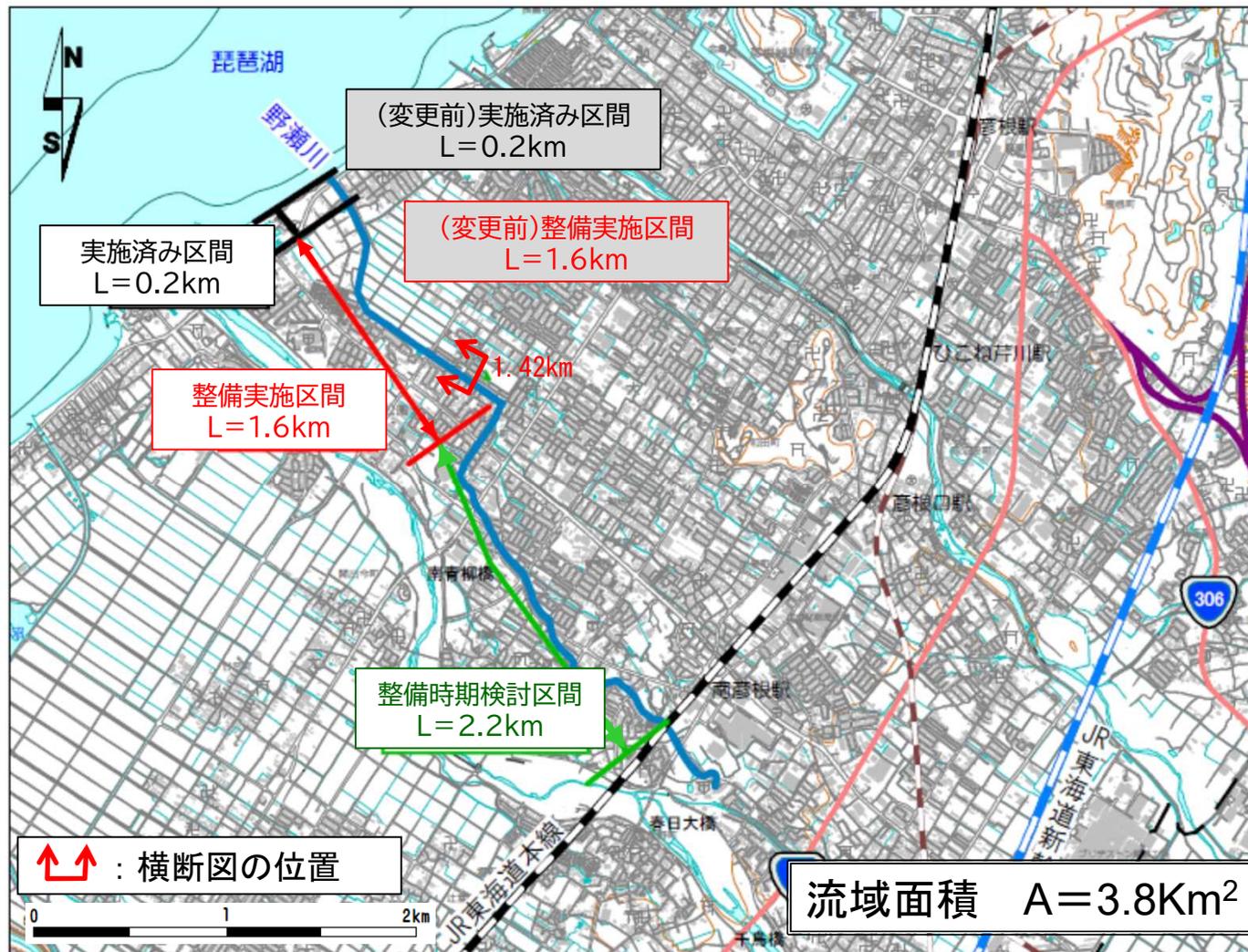
植物		28科55種	ドクゼリ、ナガエミクリ等
動物	魚類	3目3科3種	オイカワ、ウツセミカジカ、トウヨシノボリ
	鳥類	7目15科24種	カモ類他
	水生小動物	1目2科2種	ヌマエビ、アメリカザリガニ
	爬虫類	1目2科2種	イシガメ、ヌマガメ
	哺乳類	1目2科2種	イヌ、ネコ(ペット)



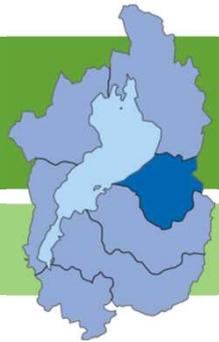
3.11 野瀬川

変更あり

⑨変更整備計画の概要(平面図)



(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)



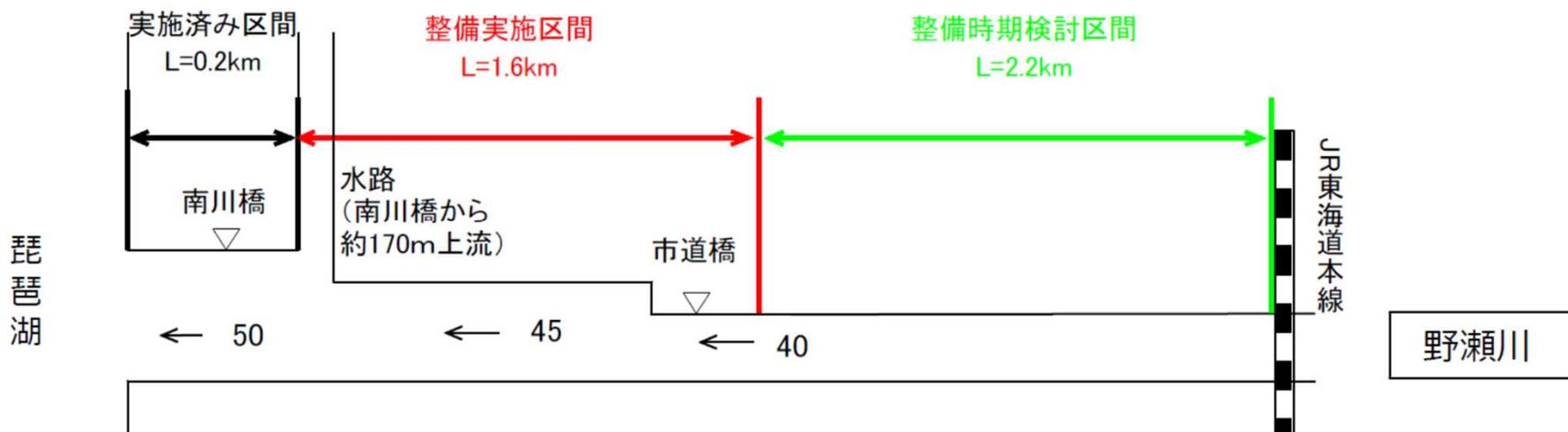
3.11 野瀬川

変更あり

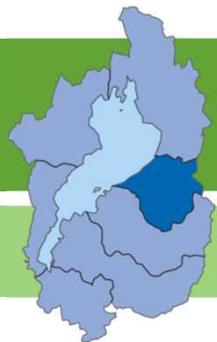
⑩変更整備計画の目標(流量配分図)

【湖東圏域河川整備計画 (変更原案)】

- ◆野瀬川は、10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるように整備を行う。
- ◆計画高水流量は、南川橋地点において $50\text{m}^3/\text{s}$ とする。
- ◆整備実施区間 $L=1.6\text{km}$ 整備時期検討区間 $L=2.2\text{km}$



野瀬川の計画流量配分図



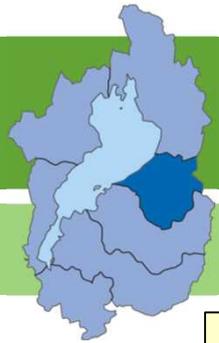
3.11 野瀬川

変更あり

① 変更河川整備の考え方

【湖東圏域河川整備計画(変更原案)での記載】

- ◆野瀬川は、上流部で宅地開発が進んでおり、一方で現況河道の流下能力が不足しているため、溢水・はん濫などの危険性が年々増加している。このため、河道の拡幅などを行い流下能力の向上を図る。
- ◆野瀬川では全川にわたり準絶滅危惧(NT)であるナガエミクリが繁茂していることから、多様な生物の生息・生育環境の確保に努め改修を進める。



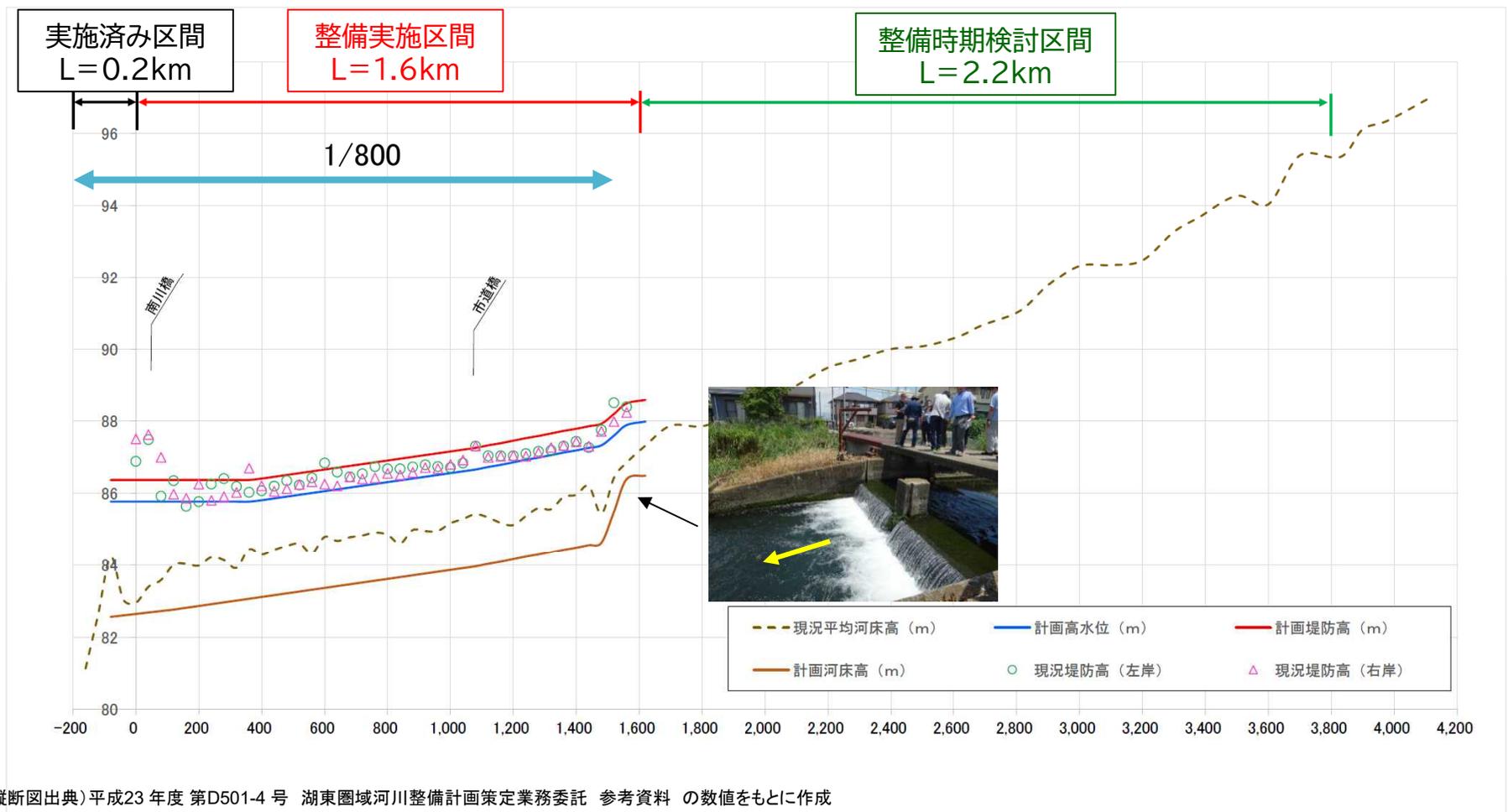
3.11 野瀬川

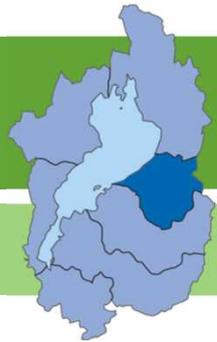
変更あり

⑫ 変更整備計画の概要(縦断図)

■ 縦断計画

・現況の河床勾配を可能な限り維持する計画河床としている。





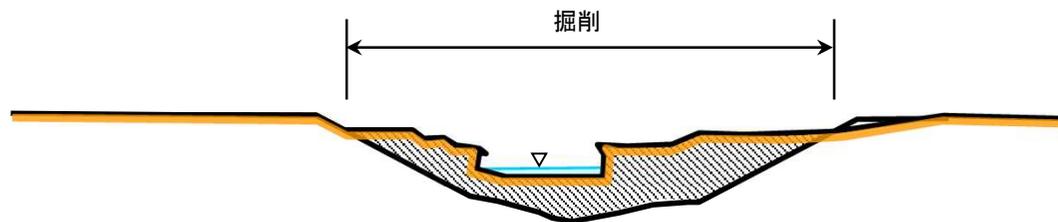
3.11 野瀬川

変更あり

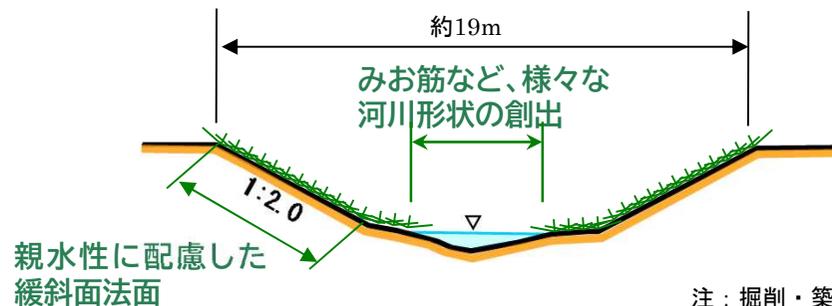
⑫変更整備計画の概要(横断図)

市立中央中学校南付近(河口から約1.42km)

【現況】



【改修後】



注：掘削・築堤の形状は状況により変更することがあります。

■横断計画

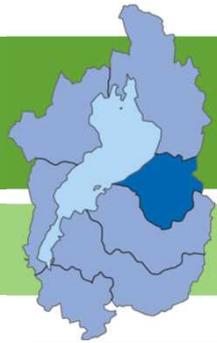
- ・河道の拡幅等を行い流下能力の向上を図る。
- ・改修後のナガエミクリの生息に配慮した改修を行う。

■川幅水深比(B/HL)と無次元掃流力(τ^*)

現況河道
 $\tau^* = 0.30$
 $B/HL = 7$

整備計画河道
 $\tau^* = 0.46$
 $B/HL = 12$

みお筋等、様々な河川形状を創出する。



3.12 平田川

変更あり

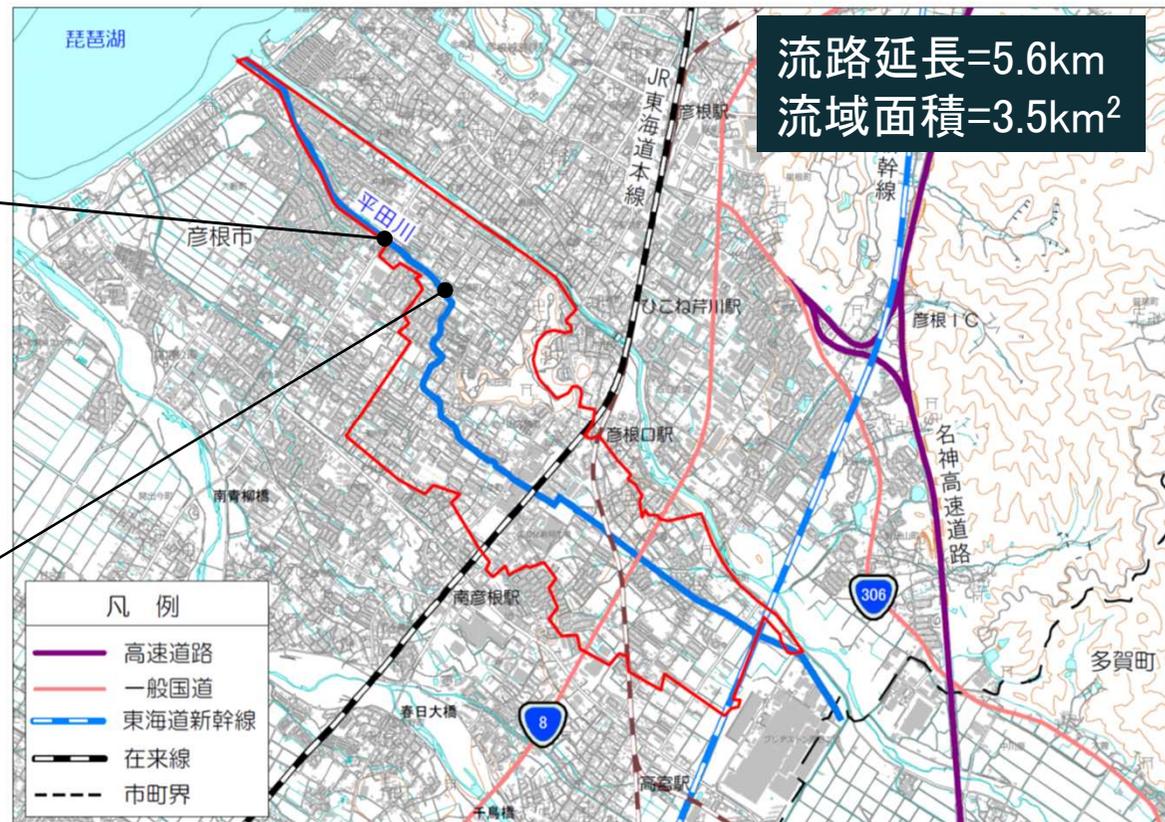
①流域概要

- 平田川は、彦根市大堀町の芹川左岸付近を源として、途中小水路、片漕川などと合流しながら彦根市南部を北西に流れ、長曾根南町で琵琶湖東岸に注ぐ流域面積約3.5km²、幹線流路延長約5.6kmの一級河川である。

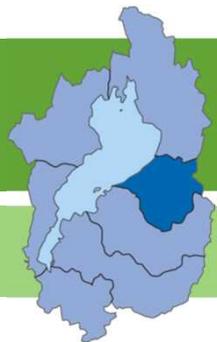
北平田橋より下流



平田橋より上流



(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)



3.12 平田川

変更あり

②過去の洪水被害

平成19年 7月洪水

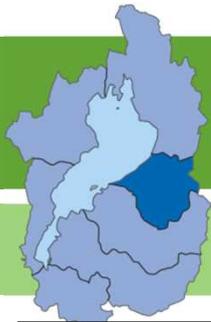
彦根市平田町～小泉町



彦根市平田町～小泉町



- ◆昭和44年6月から7月の梅雨前線
・家屋半壊2戸、床下浸水家屋50戸などの被害
- ◆平成19年7月の大雨・台風14号
・被害が発生



3.12 平田川

変更あり

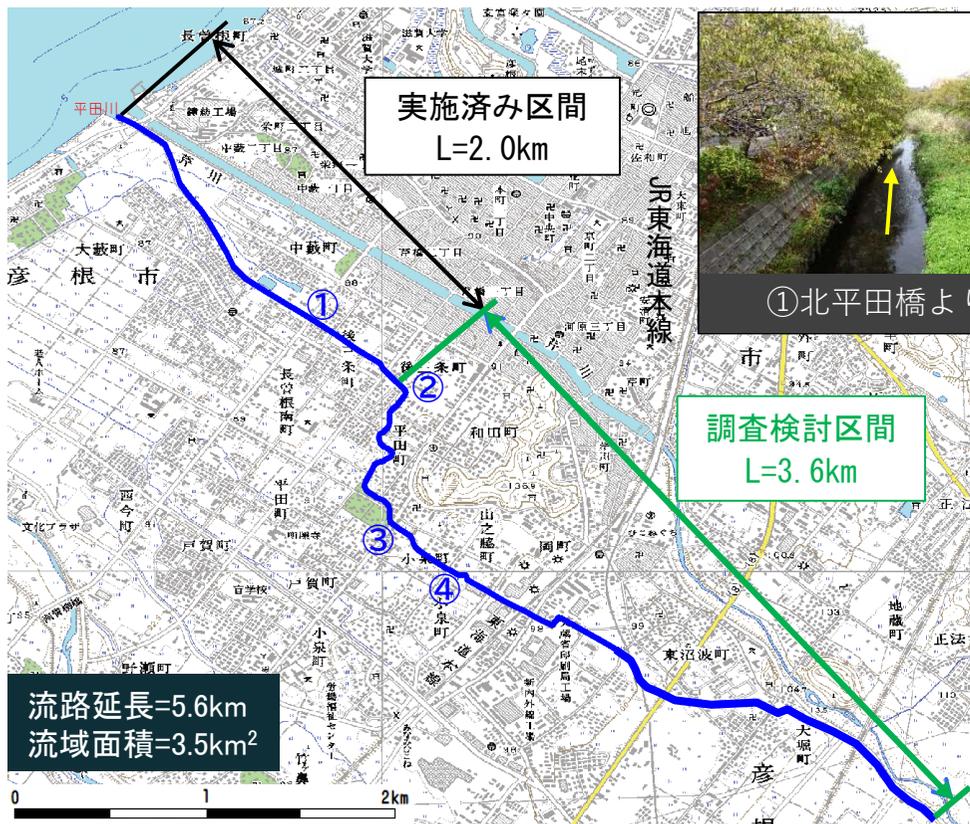
③ 現行整備計画の概要と改修の状況

【現行整備計画の概要】

- ◆10年に1回程度の降雨により予想される洪水を安全に流下できるように整備を行う。
- ◆計画高水流量は、後三条排水路合流地点において $17\text{m}^3/\text{s}$ とする。

【現在の進捗状況】

調査検討区間において、河道改修と貯留施設を併せた治水対策の検討、計画をしています。



(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)



①北平田橋より下流



②後三条排水路合流地点

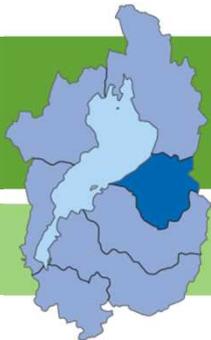
平田川中流部(落水:後三条町)(R5.11撮影)



③平田橋より上流



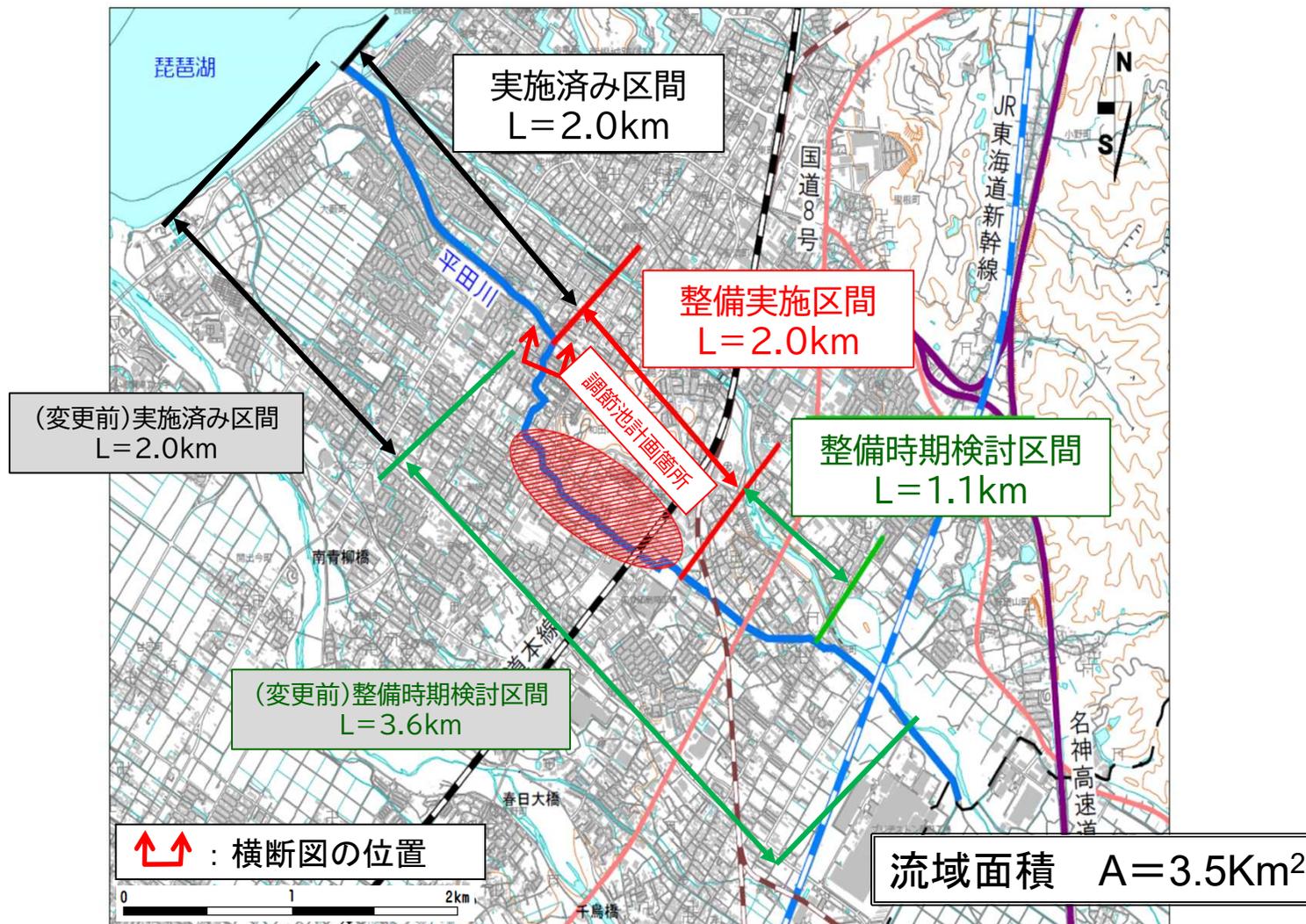
④小泉町



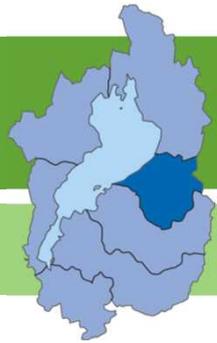
3.12 平田川

変更あり

④変更整備計画の概要(平面図)



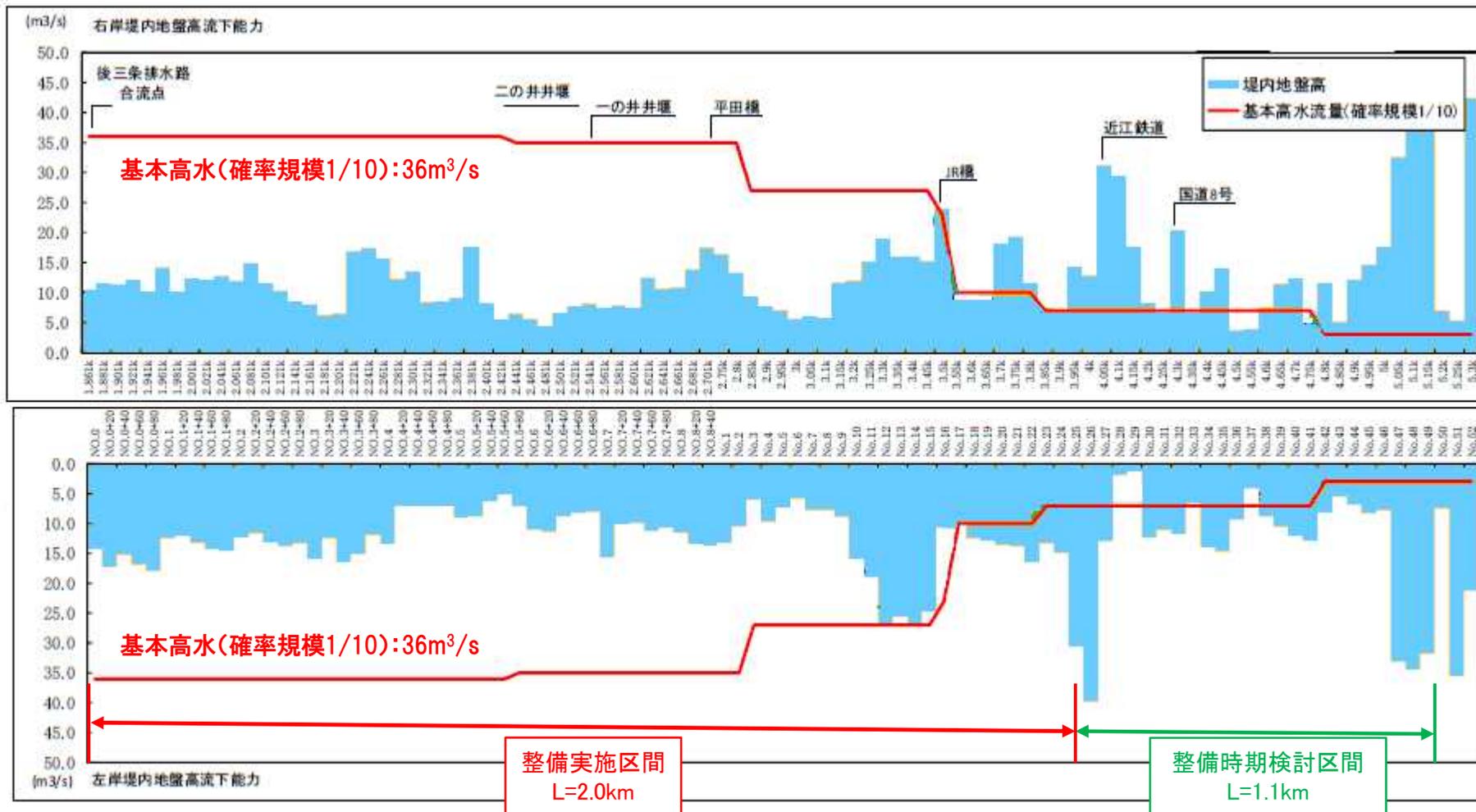
(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)

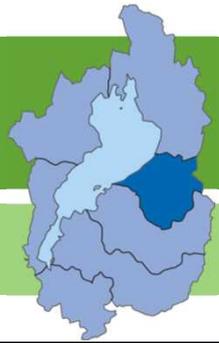


3.12 平田川

変更あり

⑤変更整備計画の治水上の課題(流下能力図)





3.12 平田川

変更あり

⑤治水上の課題(流域特性・社会特性)

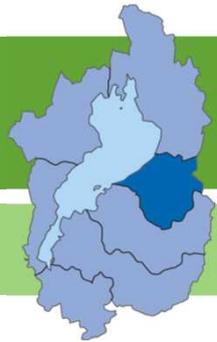
- ・流域内はすべて市街化区域に指定され、住居地域が多い。
- ・JR東海道線付近は、大規模な工業地帯も立地。
- ・JR東海道線上流には農地も存在するが、小規模な宅地開発が現在も継続し、農地は減少傾向にある。



平田川未整備箇所
後三条排水路合流点



平田橋(上流)



3.12 平田川

変更あり

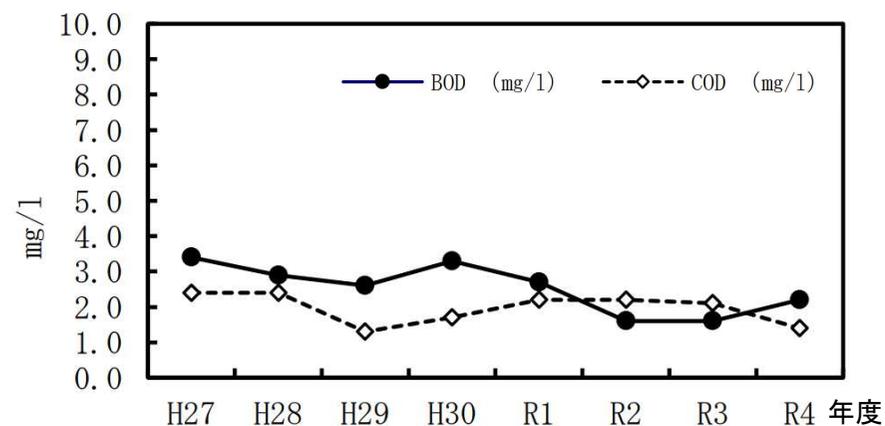
⑥利水の現状

◆平田川流域における河川水の利用の主なものはかんがい用水で、45か所から取水している。(平成25年8月)

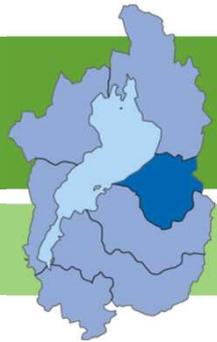
⑦水質の現状

◆彦根市によって、平田川橋上流において水質の観測が行われている。

平田川(平田川橋上流)



出典:彦根市の環境(令和6年2月,彦根市)



3.12 平田川

変更あり

⑧環境の現状(植物)

①下流域

(河口～後三条排水路合流地点)

②中流域

(後三条排水路合流地点～東海道新幹線)

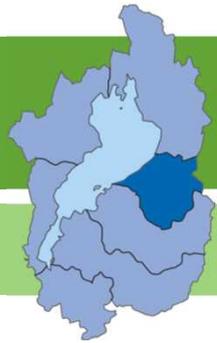


①下流域(0～1.8k)

- ・キショウブ群落・ヨシ群落等の湿地環境
 - ・ツルヨシ群落・ヨモギ-メドハギ群落等の草地・河原環境
- これらが点在

②中流域(1.8～5.5k)

- ・オギ群落・ヨモギ-メドハギ群落
- ・セイタカアワダチソウ群落等の草地環境
- ・植栽樹林群・ムクノキ-エノキ群落・メダケ群集等の低木～樹林地環境



3.12 平田川

変更あり

⑧環境の現状(魚類・底生動物)

①下流域

(河口～後三条排水路合流地点)

②中流域

(後三条排水路合流地点～東海道新幹線)



魚類・底生動物(R4調査) 区間全体

魚類:6目9科18種
 ・重要種はニホンウナギ、ミナミメダカ等11種

底生動物:4問7網20目60科108種
 ・重要種は、キベリマメゲンゴロウ等11種
 ・河口部でシジミ類
 ・特定外来生物は、オオクチバス、アメリカザリガニの2種

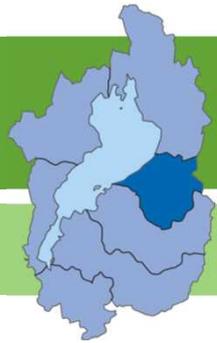
(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)

①下流域(0～1.8k)

魚類:アユ、カネヒラ、ヌマチチブ等
底生動物:サワガニやシロハラコカゲロウ、オオヤマカワゲラ等

②中流域(1.8～5.5k)

魚類:ドンコ、ヨシノボリ、ナマズ等
底生動物:カワニナ、キイロサナエ等



3.12 平田川

変更あり

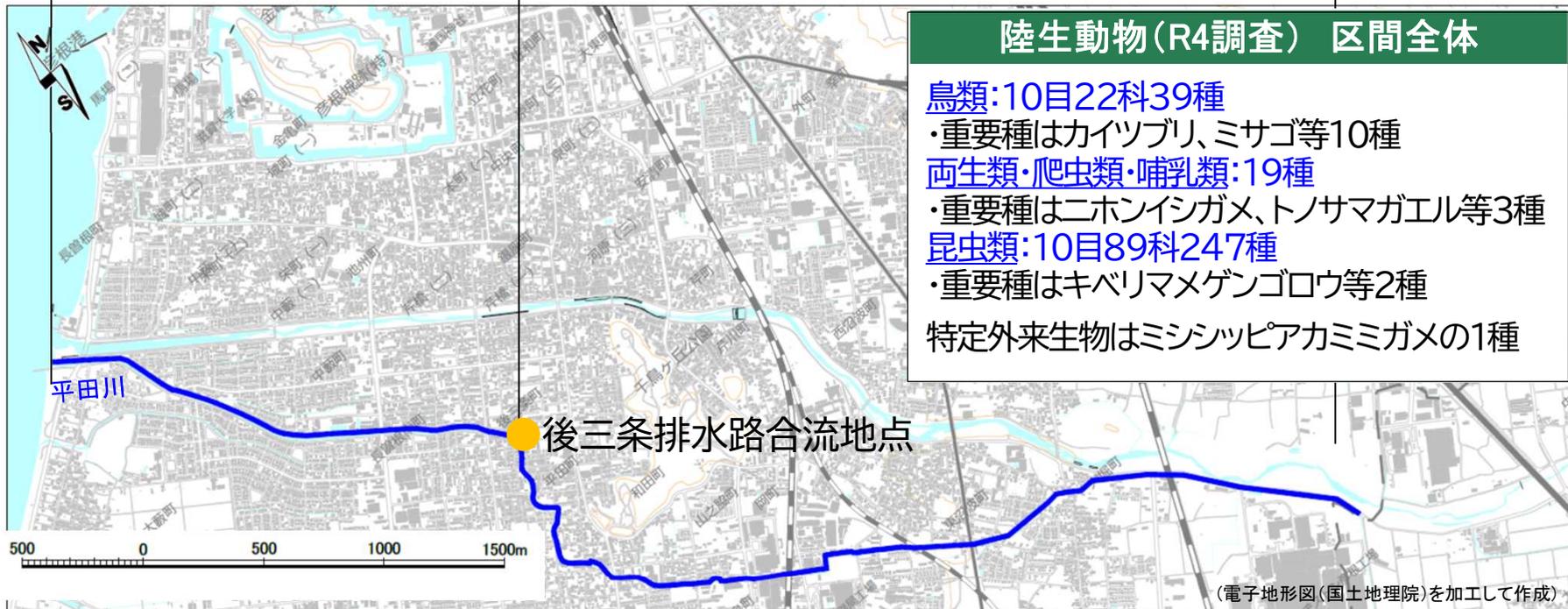
⑧環境の現状(鳥類など陸生動物)

①下流域

(河口～後三条排水路合流地点)

②中流域

(後三条排水路合流地点～東海道新幹線)



陸生動物(R4調査) 区間全体

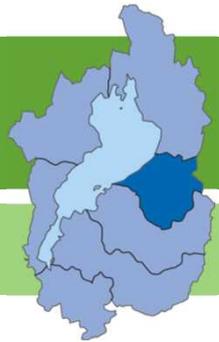
- 鳥類:10目22科39種
・重要種はカイツブリ、ミサゴ等10種
- 両生類・爬虫類・哺乳類:19種
・重要種はニホンイシガメ、トノサマガエル等3種
- 昆虫類:10目89科247種
・重要種はキベリマメゲンゴロウ等2種
- 特定外来生物はミシシippアカミミガメの1種

①下流域(0～1.8k)

- 鳥類:オオバン、カイツブリ等のカモ類、コサギ等
ミサゴの採餌場
- 両爬虫類:ヒガシニホントカゲ等
- 昆虫類:ヒゲナガカメムシ、ナミテントウ、キベリマメゲンゴロウ等

②中流域(1.8～5.5k)

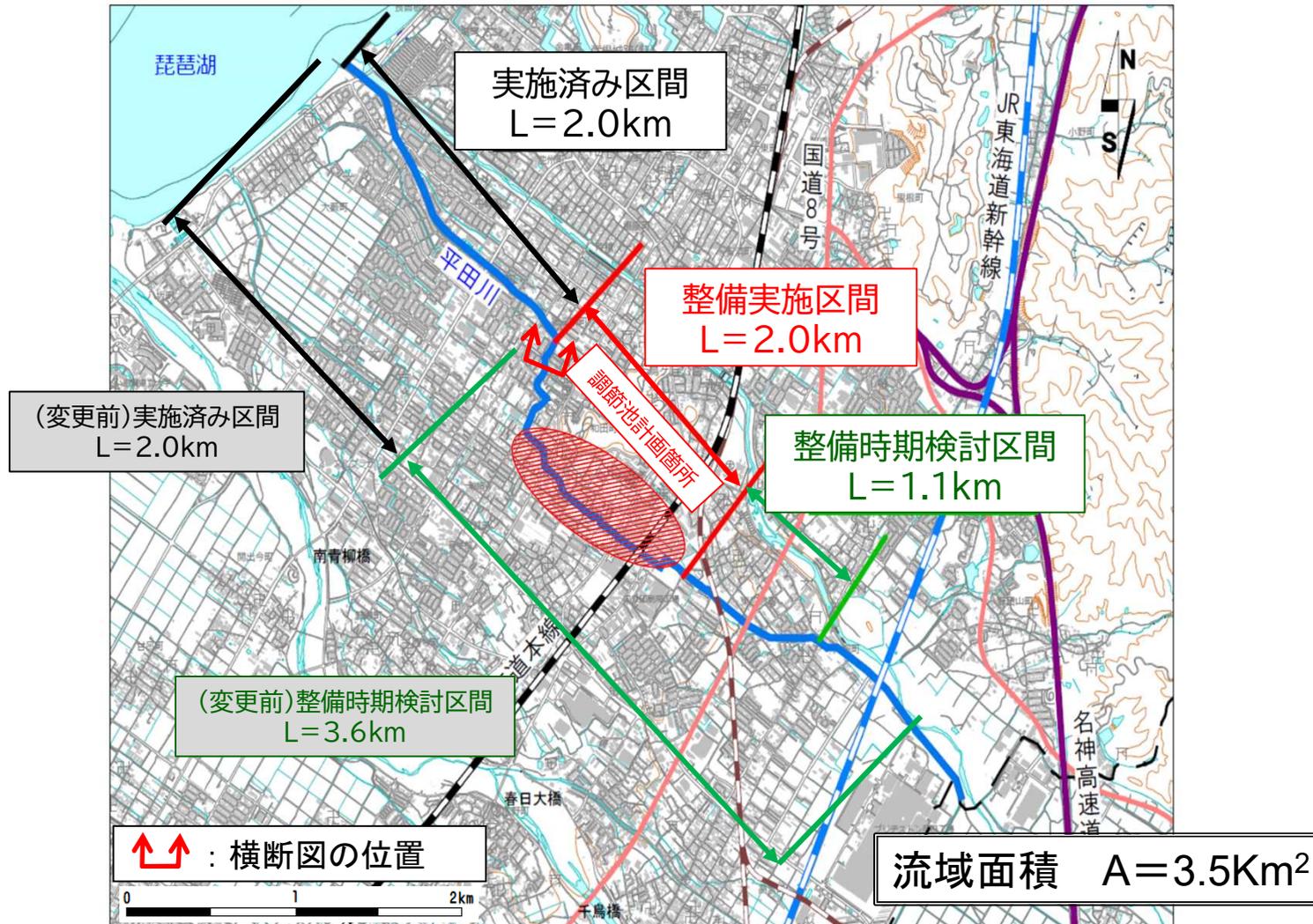
- 鳥類:コチドリ、ハクセキレイ等
- 両爬虫類:ニホンイシガメ等
- 昆虫類:モンシロチョウ、ゲンジボタル等



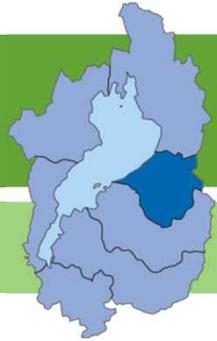
3.12 平田川

変更あり

⑨変更整備計画の概要(平面図)



(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)



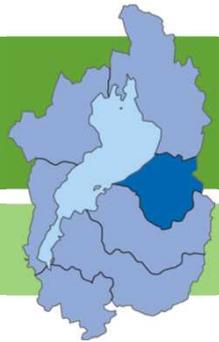
3.12 平田川

変更あり

①変更河川整備の考え方

【湖東圏域河川整備計画(変更原案)での記載】

- ◆改修済み区間から上流区間については河床が高いうえ川幅が狭く、流下能力が不足しているため、溢水・はん濫などの危険性が年々増加している。
- ◆平田川は住宅密集地を貫くように流れており、河道拡幅は困難であるため、河道掘削と調節池設置を基本として対応する。
- ◆小規模な早瀬や平瀬、河川植生が時間とともに形成されるものと考えられ、動植物の生息・生育環境のモニタリングを検討する。

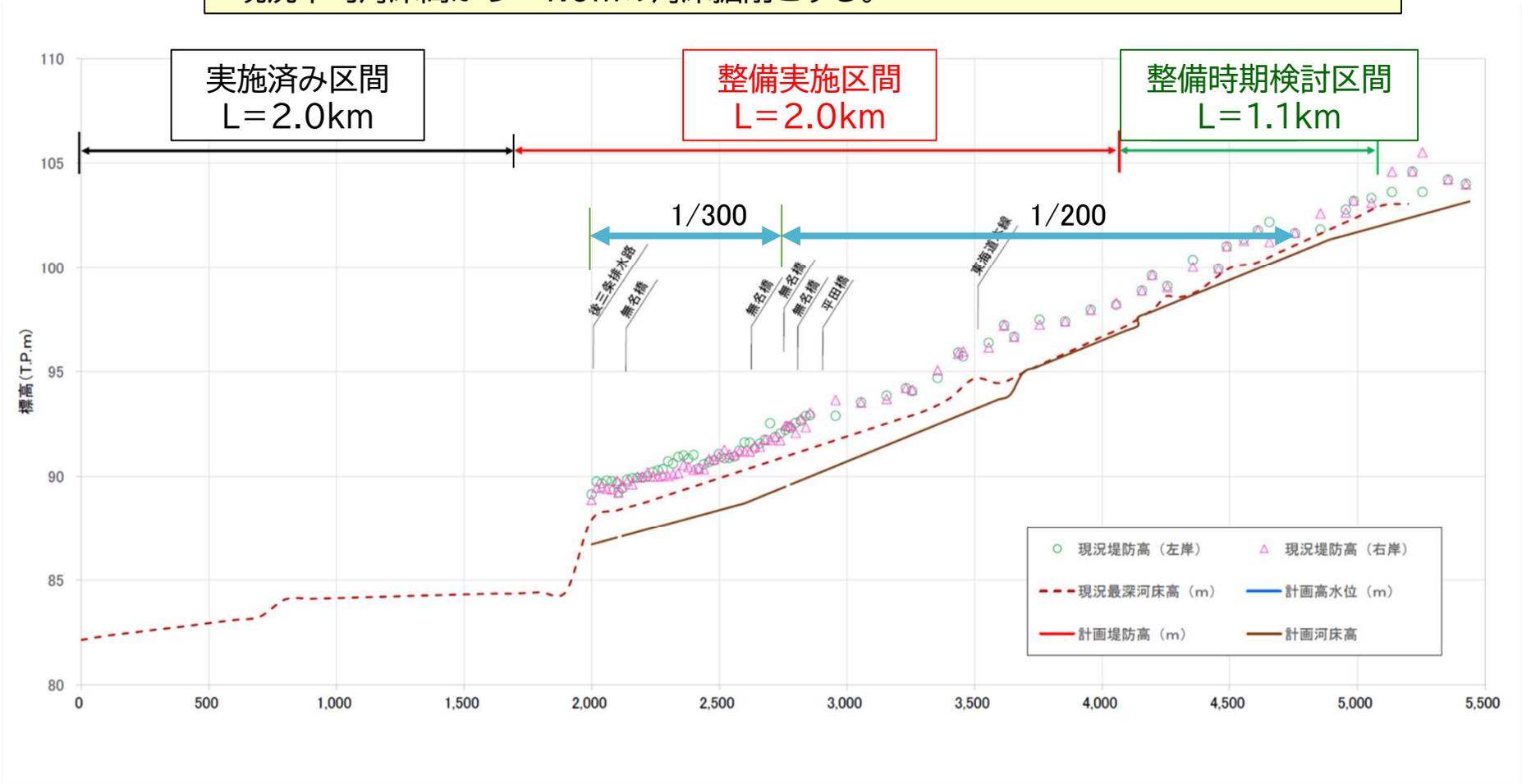


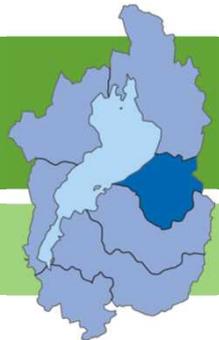
3.12 平田川

変更あり

⑫変更整備計画の概要(縦断図)

■縦断計画
・現況平均河床高から-1.0mの河床掘削とする。





3.12 平田川

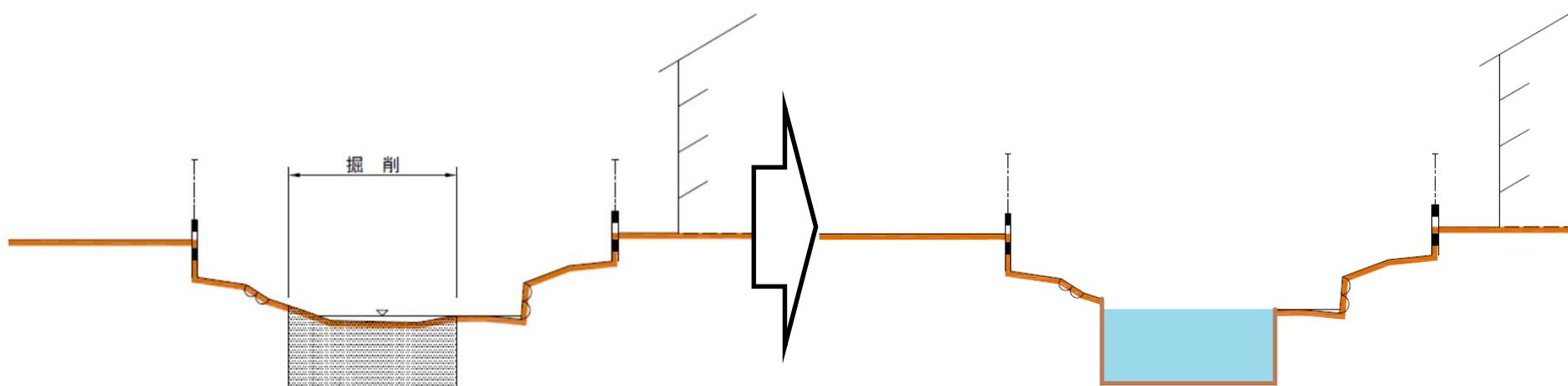
変更あり

⑫変更整備計画の概要(横断図)

後三条排水路合流地点から100m地点

【現況】

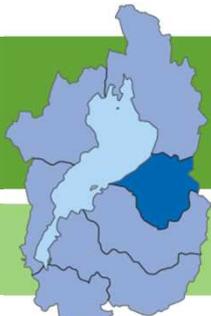
【改修後】



【平田川横断計画の条件】

整備実施区間: 矩形断面とし、現況河床幅内の掘削幅とする。

- 現況河床幅に合わせて、 $B=3.0\text{m}\sim 2.0\text{m}$ で計画する。
- 掘削深は、縦断計画、及び目標流量から設定する。



3.13 湖辺域

変更なし

◆「琵琶湖の整備と保全に関する事項(2.2.4)」に従い、琵琶湖の自然的環境・景観保全上、改善を必要とする区間や侵食の著しい区間について、湖辺の保全対策の実施時期を検討します。
(湖東圏域河川整備計画 平成25年12月)

① 彦根松原地区

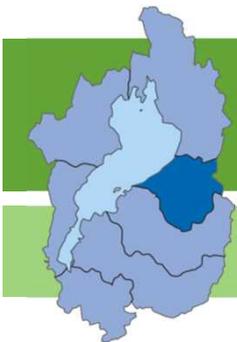


(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)

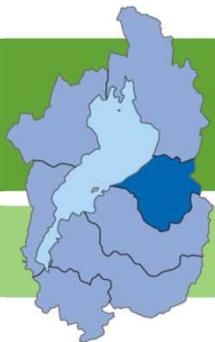
② 大藪浜地区



(電子地形図(国土地理院)を加工して作成)



4. 河川の維持管理



4.1 河川維持管理の基本的な考え

■維持管理の範囲

圏域内の全ての一級河川【41河川(琵琶湖を含む)】

■維持管理の目的

行政と地域住民との連携による、各河川の特性を踏まえた
治水・利水・環境面からの河川の維持

- ・洪水による被害の防止
- ・河川の適正な利用
- ・流水の正常な機能の維持
- ・河川環境の整備と保全

■維持管理の種類

- ・河川管理施設の維持管理
- ・河床の維持管理
- ・河川環境の保全
- ・河川占用及び許可工作物の設置等への許可・対応
- ・流水の管理

※湖東土木事務所管内河川維持管理計画(R4.3改訂)に基づき実施



4.2 河川維持管理に関する取り組み

浚渫・伐開

河道内に堆積した土砂により著しく阻害されている河川の疎通能力を回復させるため浚渫・伐開等を進めている。

【犬上川】



令和4年度 実施前



令和4年度 完了

【岩倉川】



令和4年度 実施前



令和4年度 完了

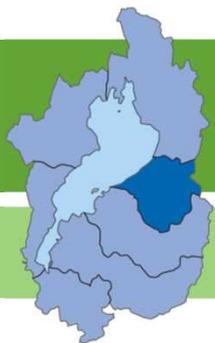
【南川】



令和4年度 実施前



令和4年度 完了



4.2 河川維持管理に関する取り組み

地域連携

- 犬上川・芹川: 流域住民会議を開催し、その中で挙げた意見・要望などに配慮。
- 矢倉川・不飲川: 川づくり懇話会を実施し、川づくりに対する地元住民の意見収集を実施し、河川整備計画(変更原案)に反映。

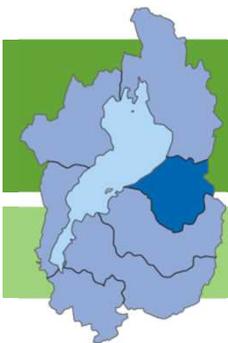
【活動の様子】

河畔林の会の活動状況

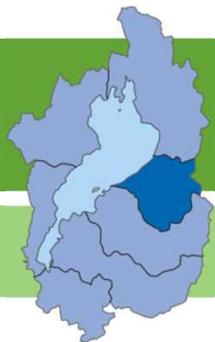


河川の清掃の様子





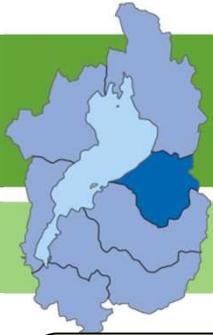
5. 超過洪水時の被害を最小化 するための取り組み



5.1 超過洪水時の被害を最小化するために必要な事項

超過洪水時の被害を最小化するために必要な事項

- 平常時における連携強化
- 洪水時の連携強化
- 水防・避難体制の強化
- 水害に強いまちづくり
- 地域防災力の向上
- 超過洪水時の減災効果のある河川管理施設の整備・保全



5.2 平常時における連携強化

- ✓ 河川管理者、関係機関、関係市等と連携し、超過洪水時の被害を最小化するために必要な対策を総合的・継続的に検討、実施

湖東圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会

■目的

施設では防ぎきれない大洪水は発生するものへと意識を変革し社会全体で洪水氾濫に備える「水防災意識社会」を再構築するため、多様な関係者が連携して、湖東圏域における洪水氾濫ならびに土砂災害による被害の軽減に資する取組を総合的かつ一体的に推進するために必要な協議を行うことを目的とする。

■協議会の構成

<委員>

彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所
気象庁彦根地方气象台
滋賀県(知事、湖東土木事務所、東近江農業農村
振興事務所)

<学識者(アドバイザー)>

京都大学防災研究所

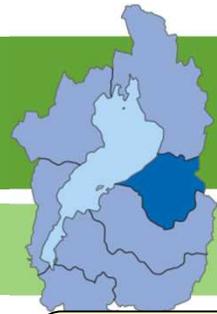


安食川(安食中町)実施状況



文録川(野良田町)実施状況

5.3 洪水時の連携強化

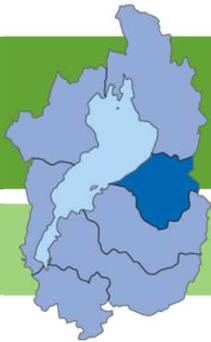


- ✓ 「平常時の備え」「緊急時の体制」への対策
- ✓ 雨量観測所、水位観測所、河川防災カメラ、河川のカメラ画像などの防災情報を「滋賀県土木防災情報システム」を用いて、安定的に提供や設備の適切な維持管理
- ✓ 関係機関と十分に連携した水防活動や避難行動を支援

滋賀県土木防災情報システム

観測時刻	14時30分	14時40分	14時50分	15時05分	15時10分	15時20分
水位情報(m)	▲ 0.02m →	▲ 0.02m →	▲ 0.02m →	▲ 0.02m →	▲ 0.03m ↑	▲ 0.03m →

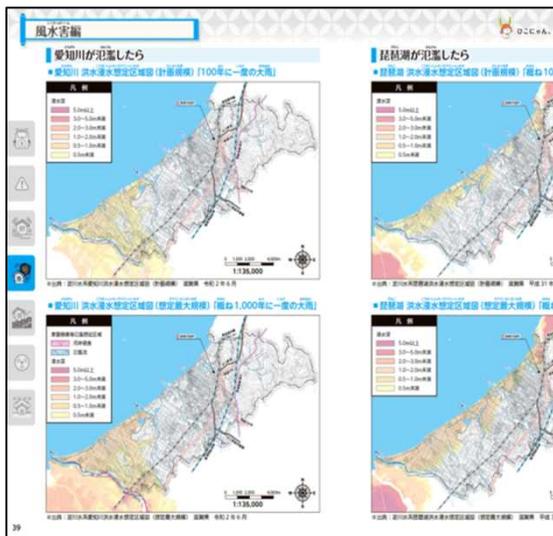
リアルタイムでの防災情報
(滋賀県 河川防災カメラ)



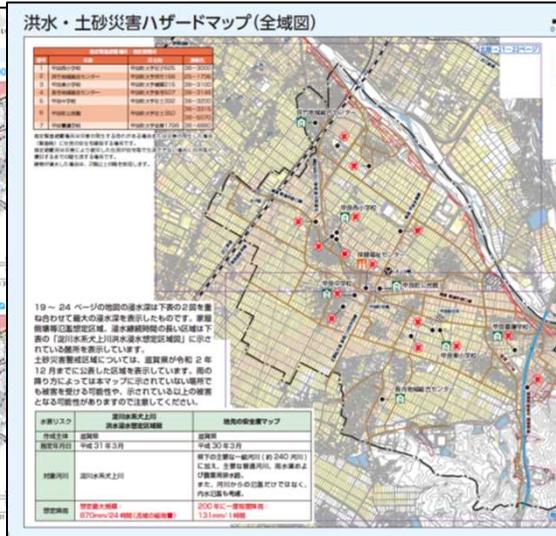
5.4 水防・避難体制の強化

- ✓ 出水期に備え、日常パトロール強化、備品の確保点検
- ✓ ハザードマップ・防災マップの作成・公表・周知
- ✓ 避難行動開始の判断などを支援

・ハザードマップ・防災マップの作成支援



彦根市水害ハザードマップ



甲良町総合防災マップ



豊郷町防災ガイドブック



5.5 水害に強いまちづくり

圏域内の取組状況

①円滑かつ迅速な避難のための取組 ＜取組例＞



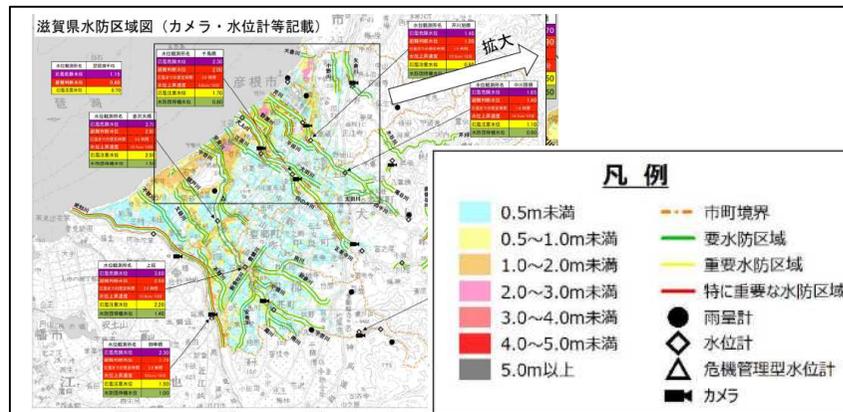
← タイムラインの策定

避難確保計画の
策定支援

①避難確保計画作成状況（令和5年3月末時点）

市町名	地域防災計画への位置づけ	対象施設数	避難確保計画作成状況	避難訓練実施状況
彦根市	2020年9月	196	124/196	89/196
愛荘町	2018年4月	36	21/36	18/36
豊郷町	2020年3月	5	5/5	0/5
甲良町	2021年3月	19	13/19	0/19
多賀町	2018年3月	5	4/5	0/5

②被害軽減の取組 ＜取組例＞



効果的な水防活動の実施のため



重要水防箇所の点検・敷材の確認

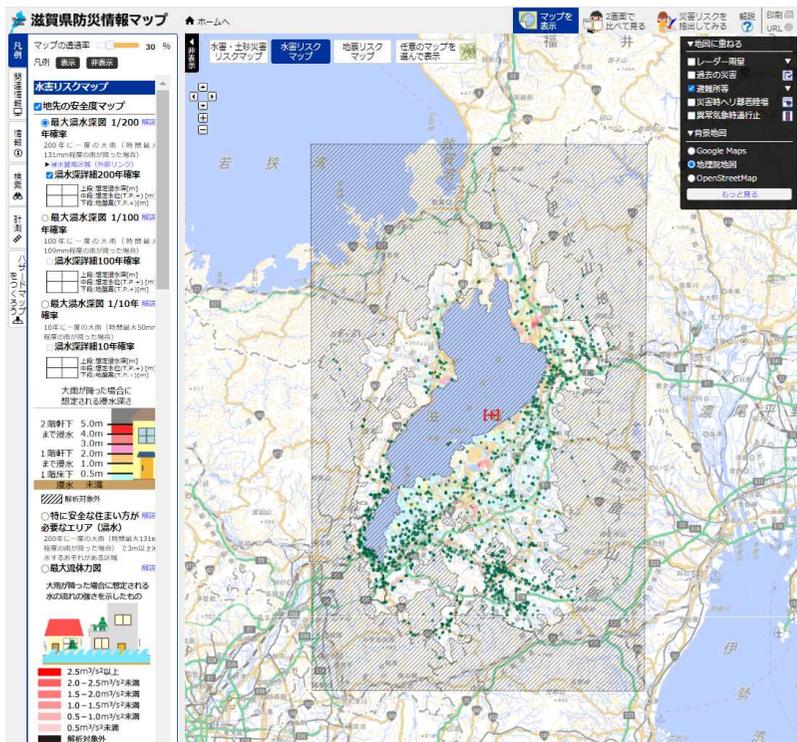
- この他、以下の項目で取組を進めている
- ・氾濫水の排除、浸水被害軽減への取組
 - ・防災施設の整備等に関する事項
 - ・減災・防災に関する取組及び支援

5.6 地域防災力の向上

✓ 水害の歴史の記録、出前講座の実施、水害に対する意識啓発

・インターネット等による情報提供

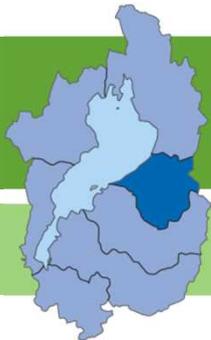
・水防訓練・水防研修会の実施
・情報伝達訓練の実施



地先の安全度マップ(滋賀県防災情報マップ)



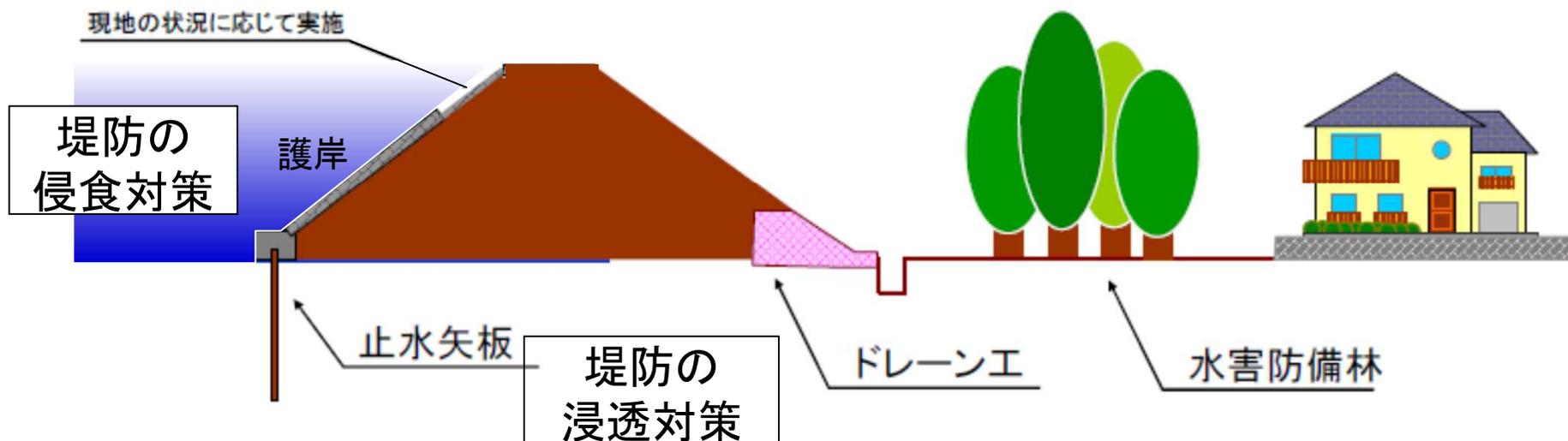
水防研修会の実施



5.7 超過洪水時の減災に効果のある河川管理施設の整備・保全

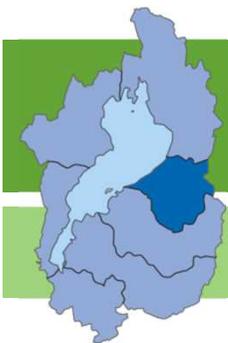
- ✓ 破堤が生じた場合の被害が大きい＋抜本的な対策困難な区間を対象
→堤防の侵食・浸透対策、水害防備林、霞堤等の整備・保全

堤防強化のイメージ

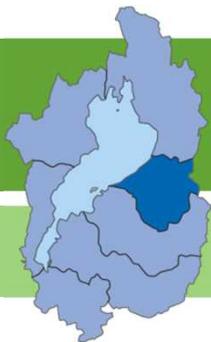


Tランク河川(堤防の質的強化や氾濫流制御を図る河川)

芹川・犬上川・矢倉川・宇曾川・早川・小野川



6. 変更原案等に対する意見



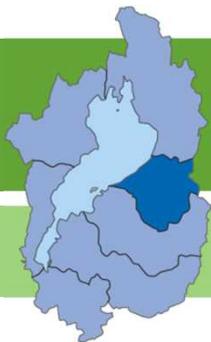
6.1 変更素案に対する住民説明会での主な意見

① 芹川の河川整備について

開催日：令和5年12月17日(日)

開催場所：プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール

	ご意見	県の考え方
芹川の 河川整備 について	現在、下流の一部の法面で堤防補強しているが、今後のどのように計画しているのか。	堤防全体の状態を確認し、対策が必要な箇所を選定し、工事を行っているところ。 昨年度は左岸で遮水シートを、今年度は右岸でドレーン工(排水工)を設置しており、今後も継続して工事を行う予定。
	下流側で実施している浚渫の河床の高さはどのように計画しているのか。	既存の護岸ブロックに影響を与えないよう現地の状況を確認し、河床の高さを設定している。
	護岸に階段等を設置するなど親水性に配慮した整備について検討してほしい。	今後、検討する過程で地域住民の方々と協議しながら進めていきたいと考えている。
	過去はダムありきで芹川は計画されていた。積極的な整備推進をお願いしたい。(意見)	—



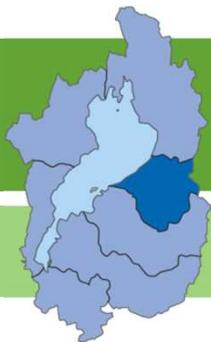
6.1 変更素案に対する住民説明会での主な意見

② 平田川の河川整備について

開催日：令和5年12月17日(日)

開催場所：プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール

	ご意見	県の考え方
平田川の 河川整備 について	起点付近は流量が少なく環境が悪いため、さらに上流まで整備してほしい。	上流においては、流下能力が十分確保されていることから、計画区間には位置付けていない。なお、維持管理については、地域の皆様と協力しながら、引き続き取り組んでいく。
	調節池はどのあたりに検討しているか。	平田橋から近江鉄道までの間で調節池を設置すると効果があると把握している。 調節池の詳細な計画については、今後、彦根市や地域住民の方々と協議しながら、検討していきたい。
	調節池の堤防高はどれぐらいを考えているのか。	現時点で、調節池の堤防高については、現況の河川と同等程度と想定している。



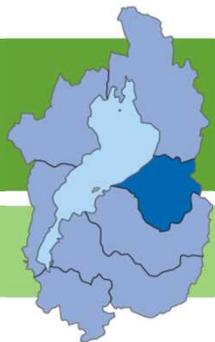
6.1 変更素案に対する住民説明会での主な意見

③ 野瀬川の河川整備・湖辺の整備、その他ご意見

開催日：令和5年12月17日(日)

開催場所：プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール

	ご意見	県の考え方
野瀬川の河川整備について	整備実施区間の上流側は、堤防が低い箇所や時間雨量50mm程度で越水する状態であるが、今後のどのように計画しているのか。	今回の計画変更において、整備実施区間の上流域を整備時期検討区間に位置付け、検討を進めていく。
湖辺域の整備について	湖辺域の整備については、どのように計画しているのか。	彦根松原地区については、現在の直立護岸を解消し、親水性のある計画とする予定。 大藪浜地区については、具体的な計画は未定であるが、砂浜の侵食が懸念されるため、突堤等を検討していく。
河川整備について	整備実施区間を整備するのに何年かけるのか。	河川整備計画は概ね20年間の計画であり、その期間内に整備を実施していく。
	今後の策定手続きのスケジュールは。	「国土交通省に変更認可の申請」は令和6年末、「河川整備計画(変更)の認可」は令和7年3月頃を目指している。



6.2 変更原案に対する住民縦覧時の意見

(住民意見の反映:河川法第16条の二の4)

意見募集期間:令和6年3月25日(月)~令和6年4月26日(金)

湖東圏域河川整備計画(変更原案)に対する
ご意見はありませんでした。